

食と防災 シンポジウム

2014



備えてまっか〜! まさかの時の食-Ⅲ

平成26年

日時

9月8日(月)

13:20~16:10(開場12:30)

場所

相愛学園本町学舎講堂

(大阪府中央区本町4-1-23
地下鉄「本町」駅C階段4号出口すぐ)

定員

300名
入場無料

※申し込みは先着順と
させていただきます。

災害支援医療緊急車両
「JDA-DAT河村号」が
初めて大阪に
やってきます!!



見学時間(12:00~13:00、16:10~16:30)

講演 13:30~14:20

「災害に備えること
地域との共助を考える」

関西大学 社会安全学部
准教授 越山 健治



災害から個人や家族、地域を守るためには、私たち一人ひとりが災害への認識を深め、備えを強化することが重要です。そこで、9月の「防災月間」に食と防災の視点から、自助(個人)、共助(地域、大学)、公助(行政、病院)の必要性の理解を深めるためにこのシンポジウムを開催します。ぜひご参加ください。

パネルディスカッション

14:30~16:10

テーマ

「地域との共助を考える」

〈パネリスト〉

- 関大防災デー「広がれ!みんなの安全・安心!」の取り組みについて
関西大学 高槻ミュージックキャンパスグループ長 奥田 昌治
 - 地域に貢献する日本栄養士会 JDA-DAT
兵庫県立がんセンター栄養管理部次長兼栄養管理課長 下浦 佳之
 - 子育て世代の減災対策
相愛大学客員教授、農林水産技術会議委員 坂本 廣子
- 〈コメンテーター〉
大阪青山大学健康科学部教授、(公社)大阪府栄養士会会長 藤原 政嘉
- 〈コーディネーター〉
相愛大学人間発達学部教授、相愛大学総合研究センター長 太田 美穂



奥田 昌治



下浦 佳之



坂本 廣子



藤原 政嘉



太田 美穂

主催 大阪府、農林水産省近畿農政局大阪地域センター、相愛大学、大阪青山大学、(公社)大阪府栄養士会
後援 健康おおさか21・食育推進企業団、大阪府食生活改善連絡協議会、大阪市食生活改善推進員協議会
協賛 大塚製薬株式会社、大阪府焼菓子工業組合

展示コーナー(12:30~16:10)

- 府内特定給食施設における災害時の備え 大阪府保健所栄養士 大阪府環境農林水産部
- 大阪産(もん)の紹介
- 見てわかる実践台所防災 坂本 廣子 相愛大学人間発達学部発達栄養学科[管理栄養士養成課程]
- 若い仲間に伝えたい! 食と防災
- 関大防災デー「広がれ!みんなの安全・安心!」の取り組み 関西大学

越山 健治

関西大学 社会安全学部 准教授

1995年神戸大学工学部環境計画学科卒業後、同大学院博士前期課程と進み、2001年に神戸大学博士(工学)取得。その後、財団法人阪神・淡路大震災記念協会 人と防災未来センターの研究員を経て、2010年に関西大学社会安全学部に着任。主な専門は、都市安全計画、都市復興計画や地域・住宅再建計画であるが、自治体の災害対応計画や組織計画についても研究蓄積がある。また、国・地方公共団体の災害対策関連の委員会に数多く参画している。

奥田 昌治

関西大学 高槻ミュージックキャンパスグループ長

1992年、関西大学卒業。同年、学校法人関西大学奉職。2003年から総務課配属。その後、学校法人関西大学における危機管理体制整備を進め、学校防災力の向上に尽力する。中でも危機管理専門の事務職員で編成される「リスクマネージャー制度」は他大学に類を見ない制度として高い評価を受ける。その他、1万人の避難訓練「関大防災デー【~広がれ!みんなの安全・安心!~】」なども企画し、地域住民をも巻き込んだ防災イベントとして例年の恒例行事として根付いている。2014年4月より現職。社会安全学部においても教職協働のもと地域防災に取り組んでいる。

下浦 佳之

兵庫県立がんセンター栄養管理部次長兼栄養管理課長

兵庫県立光風病院、兵庫県立尼崎病院、兵庫県福祉部地域福祉課、兵庫県立こども病院、兵庫県立加古川医療センターを経て、現在は、兵庫県立がんセンター 栄養管理部次長兼栄養管理課長として勤務。神戸女子大学、神戸学院大学客員教授としても教鞭をとっている。また、(公社)兵庫県栄養士会副会長、(公社)日本栄養士会常務理事などを務めており、東日本大震災時には「日本栄養士会災害支援栄養チーム(JDA-DAT)」総括として被災地の支援に取り組んだ。

坂本 廣子

相愛大学客員教授/農林水産技術会議委員

神戸に生まれ育つ。台所は社会の縮図として、様々な問題を食で解決する社会派料理研究家。幼児期からの料理体験で育てるハンズオン教育を35年以上実践。日本の食育のさきがけでNHK教育テレビの「ひとりのできるもん」の産みの親でもある。自給率向上の切り札として、米粉の推進普及を10年以上行う。阪神淡路大震災に被災し、日常生活を基礎にした「台所防災術」を編み出し安全な調理の普及を目指す。キッズキッチン協会会長、近畿米粉食品推進普及協議会会長、神戸女子短期大学非常勤講師など多数。「台所防災術」など著書多数。

藤原 政嘉

大阪青山大学健康科学部教授/(公社)大阪府栄養士会会長

大阪生まれの大阪育ち。「食べ物」を介して人の健康に貢献できればと思い栄養学を学び、保健所・病院勤務を経験し、現在大学で教鞭をとっている。一方、栄養士会の役員として大阪府民の皆様の健康を栄養面からサポートすべきと思いついた種々の事業を展開している。また、東日本大震災時には「日本栄養士会災害支援栄養チーム(JDA-DAT)」を組織し、被災者の栄養アセスメントや支援物資の栄養学的配慮など栄養サポートを実施した。

太田 美穂

相愛大学人間発達学部教授/相愛大学総合研究センター長

国立循環器病センター研究所を経て2006年から相愛大学人間発達学部教授。医学博士(大阪大学大学院医学研究科)。専門は生化学・栄養学。日本生化学会評議員、日本栄養改善学会評議員、(一社)エビデンスに基づく統合医療研究会理事などを務めている。1995年神戸市内で阪神・淡路大震災を経験した。大豆発酵食品テンペの機能性(整腸作用)を明らかにしそのメカニズムを追究している。非常時・災害時の栄養補給に関心を持っている。

【問い合わせ先】大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課 TEL 06-6941-0351(代)内線2548
 【申し込み先】農林水産省近畿農政局大阪地域センター消費・安全グループ FAX 06-6941-9011
 【締め切り】9月4日(木)

近畿農政局大阪地域センター消費・安全グループへFAXでお申し込みください。

FAX 06-6941-9011

締め切り 9月4日(木)

氏名(ふりがな)	住所(所属)	電話番号

個人情報とは今回の食と防災シンポジウム以外の目的には使用いたしません。参加いただける方への連絡及び参加証等の発行はいたしません。定員を超えたため参加いただけない場合のみ、こちらから連絡いたしますのでご了承願います。